



「小さな親切」運動静岡県本部の概要

1. 名 称 「小さな親切」運動静岡県本部
代表 八木 稔(静岡銀行 頭取)
2. 目 的 県内における「小さな親切」運動の普及推進をはかり、明るく住みよい郷土と人間性あふれる地域の建設に寄与する。
3. スローガン 『できる親切はみんなでしよう それが社会の習慣となるように』
4. 設 立 平成9年2月20日(全国35番目の県本部として設立)
5. 顧 問 (名誉顧問) 川勝平太県知事
(顧 問) 県議会議長、県教育長、県警察本部長、
県立大学学長、県市長会会長、県町村会会長、県健康福祉部長
6. 理 事 経済界、諸団体、報道機関
7. 会 員 本運動の目的にご賛同いただいた、個人、法人、学校、団体等
会員数 30,950先 (2023年3月31日現在)
8. 事 業
 1. 「小さな親切」実行章贈呈事業
 2. 青少年心の育成事業
 - ①あいさつ運動
 - ②作文コンクール
 3. 環境美化事業
 - ①クリーン作戦
 - ②福祉施設支援事業(車いす等贈呈・奉仕活動)
 4. 環境保全事業
 - ①里山づくり活動(植樹・森林整備)
 - ②棚田保全活動
 5. 支援活動
 6. 心の国際交流事業
 - ①使用済切手の収集活動(途上国の農業などの活動を支援)
 - ②書き損じハガキの収集活動(途上国の幼児教育を支援)
 - ③ベルマークの収集活動(途上国の子どもの森計画を支援)

事務局：静岡市清水区草薙北2-1 静銀総合サービス棟内
TEL054-347-3712 FAX054-344-0401
<http://www.across.or.jp/kindness/>



「小さな親切」運動の始まり

昭和38年3月の東京大学卒業式において、茅誠司総長は卒業生に向けて次のような言葉を贈りました。

「さまざまな知識を持っているだけでは、エンサイクロペディア（百科事典）を頭の中にかかえて歩いている人間にすぎません。その教養を社会人としての生活の中に、どのように生かすかということが重要と存じます」

そして、あるエピソードを聞かせたのです。

新聞配達の子の自転車のチェーンが外れると、近くのバス停で待っていたおじさんが駆けつけて、あっという間に直しました。今度は近くの店からバケツと石鹸とてぬぐいを持ったお婆さんが「お洗いなさい」と言って差し出します。おじさんは「ありがとう」と言って手を洗いました。それを見ていた周りの人たちの心にも温かいものが残った、という話です。

こうした人から人へと伝わる「親切」こそ、人格形成に不可欠な要素であり、「やろうとすれば誰でもできることから始められる」と諭したのです。

この最後の告辞が世の人の心を強く動かし、「人を信じ、人を愛し、人に尽くす」ことを信条として同年6月13日に「小さな親切」運動が発足され、初代代表に茅誠司氏が就任されました。

以来、「できる親切はみんなでしょう、それが社会の習慣となるように」をスローガンに全国に広がり、33道府県に県本部、140市町村に支部が結成されました。

静岡県本部は、石川嘉延前県知事の要請により、県内の企業や団体、関係行政機関のご協力をいただき平成9年2月20日に創立され、おかげさまで本年2月創立20周年を迎えました。

平成29年3月



茅 誠司 (かや せいじ)

明治31年12月21日生まれ
昭和32年東京大学総長就任
昭和38年3月東京大学総長退任
昭和38年6月13日「小さな親切」運動
本部初代代表就任、23年間代表を務める
昭和63年11月19日死去

